

第17回U-15全国KWB野球選手権大会 in 伊豆

【大会要項】

平成29年7月1日

- 1 目的 「明日の日本を担う青少年を育てる」という観点から、野球競技を通じて青少年の健全な育成を目指すとともに、中学生の身体の成長段階を考慮し、高等学校の硬式野球へスムーズに移行できるよう計らう。
- 2 主催 公益財団法人日本野球連盟 日本KWB野球連盟
- 3 主管 U-15全国KWB野球選手権大会実行委員会
- 4 特別後援 伊豆市 伊豆市教育委員会 伊豆の国市 伊豆の国市教育委員会
- 5 後援 スポーツ庁 静岡県 静岡県教育委員会 三島市 三島市教育委員会
函南町 函南町教育委員会 NHK 全国新聞社事業協議会 共同通信社
読売新聞社 静岡新聞社・静岡放送 公益財団法人全日本軟式野球連盟
- 6 協力 静岡県野球連盟 NPO法人伊豆市体育協会 日本大学国際関係学部
JA静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院 伊豆箱根鉄道
日本KWB野球連盟「応援団の会」
- 7 特別協賛 シダックス株式会社
- 8 協賛 ナガセケンコー株式会社 オリックス自動車株式会社
コカ・コーライーストジャパン株式会社
- 9 日程 平成29年8月6日(日) ～ 8月8日(火) 予備日8月9日(水)
>一次リーグ：8月6日(日)～8月7日(月)
>決勝トーナメント：8月8日(火)
- 10 競技会場 8/6～8/8 「志太スタジアム」 静岡県伊豆市下白岩1434 TEL 0558-83-2310
※志太スタジアム内に大会競技本部を設置する
8/6～8/7 「韮山運動公園野球場」 静岡県伊豆の国市韮山多田860

- 11 監督会議 8月5日(土) 16:00 会場:ホテルワイナリーヒル
静岡県伊豆市下白岩1434(志太スタジアム隣接) TEL 0558-83-2310
※監督は必ず出席すること
- 12 開会式 8月7日(月) 8:00 会場:志太スタジアム
※大会二日目に開催するので留意すること
- 13 宿泊 「ホテルワイナリーヒル」とする。ただし収容人数を超えた場合は近隣の宿泊施設を大会実行委員会で斡旋する。(宿泊関係の要項は別途定める)
- 14 出場資格 日本国内の15歳以下(中学生)の野球チーム
- 15 出場チーム数 16チーム(ブロック代表制)
- 16 チーム構成 団長:1名 監督:1名 コーチ:2名以内 スコアラー:1名
[注] 役職の兼任を認める 選手:20名以内
- 17 競技規則 (1)2017年公認野球規則および大会特別規定による。
(2)大会特別規定は別に定める。
(3)使用球は連盟公認球(KWBボール)とする。
- 18 競技方法 一次リーグ、決勝トーナメント形式(試合時間100分・7回戦)とする。
一次リーグ:出場チームをA・Bブロックに分ける。
二日目は会場を入れ替え、ブロック内で対戦相手をシャッフルする。
〈順位決定に優先される条件〉
①勝数 ②失点数 ③得点数 ④抽選
※特別延長戦における得失点数は算入しない [大会特別規定9-2(5)]
決勝トーナメント:各ブロックの上位2チームが決勝トーナメントに進出する。
- 19 大会参加費 1チームあたり30,000円、参加登録選手1人あたり2,000円を、監督会議当日のチーム参加受付時に大会運営本部に納入する。
- 20 備考 この大会要項は平成29年7月1日現在のものです。内容につき変更があった場合は関係各所に通知するとともに連盟ホームページ上で告知します。
連盟HP <http://www.k-ball.jp>

【表 彰】

1 優勝チーム

賞状・文部科学大臣杯・優勝旗・優勝盾・優勝記念メダルを授与する。

- ① 文部科学大臣杯（文部科学省）持ち回り/翌年に代杯授与
- ② 優勝旗（日本KWB野球連盟）持ち回り/翌年にレプリカ授与
- ③ 優勝盾（日本野球連盟）
- ④ 賞状（文部科学省、NHK、読売新聞社、静岡新聞社・静岡放送、日本野球連盟、日本KWB野球連盟）
- ⑤ メダル（優勝記念の金メダル 選手、団長、監督、コーチ、スコアラーの25名以内）

2 準優勝チーム

賞状・準優勝杯・準優勝盾・準優勝記念メダルを授与する。

- ① 準優勝杯（日本KWB野球連盟）
- ② 準優勝盾（日本野球連盟）
- ③ 賞状（NHK、読売新聞社、静岡新聞社・静岡放送、日本野球連盟、日本KWB野球連盟）
- ④ メダル（準優勝記念の銀メダル 選手、団長、監督、コーチ、スコアラーの25名以内）

3 3位チーム（2チーム）

日本KWB野球連盟から賞状・盾を授与する。

4 山本英一郎賞（最優秀選手賞）

大会で最も活躍した選手1名に授与する。

5 参加賞

参加者の全員に参加賞を授与する。

【山本英一郎賞 歴代受賞者】

- 2006年(第6回) 中村 勝(投手・藤倉オールスターズー春日部共栄高ー北海道日本ハムファイターズ)
2007年(第7回) 田口 公貴(内野手・埼玉オールスターズー帝京高(甲)ー日本体育大)
2008年(第8回) 竹崎 裕麻(投手・埼玉スーパースターズー春日部共栄高ー青山学院大)
2009年(第9回) 木村 光彦(投手・オール八千代ー習志野高(甲)ー日大ー東京ガス)
2010年(第10回) 吉澤 岳志(投手・茨城県東地区選抜ー常総学院高(甲)ー青山学院大)
2011年(第11回) ー東日本大震災の影響により開催せざー
2012年(第12回) 金井 修司(投手・川口クラブー浦和実業高)
2013年(第13回) 梅田 祥伍(外野手・福岡選抜ー東筑高)
2014年(第14回) 海野 陽日(投手・伊豆少年野球団ー日大三島高)
2015年(第15回) 山本 雅樹(投手・新潟KWBクラブー中越高)
2016年(第16回) 川和田悠太(投手・オール船橋ー八千代松陰高)

【山本英一郎賞とは】



故 山本英一郎氏

山本英一郎…全日本アマチュア野球連盟会長、日本野球連盟会長などアマ球界の要職を歴任。野球の五輪正式採用など国際化に尽力し、1997年、野球殿堂入り。また、KWBボールを志太 勤・日本KWB野球連盟会長とともに開発し、その普及や発展に多大な貢献をしました。2006年5月没。享年87歳。
山本英一郎賞は、氏の功績を讃え、第6回(2006年)大会より最高殊勲選手に贈呈される賞として制定されました。

写真提供：共同通信社